

科目名	器楽合奏法		科目コード	1927	
開講学科	教職課程	単位数	2	形態	演習
教員名	西田和久				
授業の目的及びテーマ					
<p>一般的な音楽感覚が要求されるリコーダーの演奏技術を習得する過程において「器楽に共通する技術習得プロセス」を理解する。また、その習得プロセスを合奏指導に応用する。</p>					
授業概要					
<p>音楽一般に共通する能力を基に、リコーダーの基礎的な演奏技術を習得させ、その上で「分業の再構築である合奏」を体験することで、その特有な能力的要求や、合奏指導に関係した能力、及び知識を合わせて習得させる。また、若干ではあるが邦楽（器楽）に触れる。</p>					
授業計画					
<p>第 1 回：指導書 学習概要（学習の要点）、練習課題と技術について</p> <p>第 2 回：指導書 第 1 課（左手の練習）、第 2 課（スラー）、第 3 課（右手の練習）</p> <p>第 3 回：指導書 第 4 課（アンサンブルについて：音の構造と演奏者の感覚の関わり）、二重奏（以下各週に覚えた技術レベルに合わせた曲を選曲して練習する）</p> <p>第 4 回：指導書 第 5 課（アーティキュレーション）、第 6 課（派生音 Fis ト長調）、第 7 課（派生音 Es,B ト短調）、二重奏</p> <p>第 5 回：指導書 第 8 課（オクターブホール）、第 9 課（サミング）、第 10 課（ハ長調）、第 11 課（変口長調）、二重奏</p> <p>第 6 回：指導書 第 12 課（トリル）、第 13 課（派生音 Cis &amp; Gis）、第 14 課（イ長調の音階と分散和音）、二重奏</p> <p>第 7 回：指導書 第 15 課（替え指）、第 16 課（イ短調の音階と分散和音）、第 17 課（高音の練習）、二重奏</p> <p>第 8 回：指導書 第 19 課（最低音と高音の練習、ヘ長調 2 オクターブの演奏）</p> <p>第 9 回：指導書 第 18 課（合奏に関係した練習・指揮と合奏指導）</p> <p>第 10 回：面接授業の第 1 日目 # 1 / 器楽演奏についての考え方（音楽的感覚と演奏技術、及び感覚の育成）</p> <p>第 11 回：面接授業の第 1 日目 # 2 / 器楽演奏への応用（音楽的感覚を技術へ適用する）</p> <p>第 12 回：面接授業の第 2 日目 # 1 / アンサンブル（音の構造と音楽のスタイル）</p> <p>第 13 回：面接授業の第 2 日目 # 2 / アンサンブル（楽譜から音楽へ・ニュアンスのある音楽作り）</p> <p>第 14 回：面接授業の第 3 日目 / 合奏指導（今までに練習した二重奏を使い、指揮と合奏指導の実習を行う）</p> <p>第 15 回：面接授業の第 3 日目 / 邦楽（長唄と三味線）</p>					
テキスト	「リコーダー教則本Ⅰ」 鯉沼廣行著 （全音楽譜出版社）		参考文献		
評価方法：					
課題 3 課題と面接授業（スクーリング）を総合的に評価する					